

ハダニ類 同一薬剤は使用一回

8月も下旬になるとリンゴの定期防除もほぼ終わり、収穫や着色管理作業が本格化する時期です。これからも斑点落葉病やナミハダニなど再発生する危険があるので、園地の発生状況をよく観察し防除を徹底します。

① 斑点落葉病

降雨のあった地域では、斑点落葉病の発生が増加傾向にあります。天候や園地の発生状況に応じて防除します。とくに、9月上中旬に連続した降雨が予想される場合や発生が目立つ園地は、中晩生種を対象にアリエッティC水和剤を収穫14日前までに特別散布します。

② すず斑病・すず点病

本病は低温・多雨・少照の条件下で多発するので、降雨が続いた場合や例年発生の多い園地では、キャプタン水和剤を収穫14日前までに散布します。



【すず斑病】



【すず点病】



【重症果実（すず斑病、すず点病が併発）】

③ ハダニ類

9月上旬に発生状況を確認し、ハダニの寄生葉率が30%以上の場合は、直ちに防除を行います。散布にあたっては、基準散布量を守り散布ムラが生じないように、樹の上部まで十分薬液がかかるようていねいに散布します。また同一薬剤は1シーズン1回使用のみとし、薬剤の選択、散布時期は早生品種収穫時期に留意して農薬安全使用基準・農薬適正使用基準（使用基準）を厳守してください。

写真 社団法人 岩手県植物防疫協会発行
いわての農作物病害虫図鑑（Ⅱ）
リンゴ・桑編 より